

三百枚  
讀切長篇  
殺人鬼対白皇帝  
マーチン・  
ポーロック (三)

ひと夜の貴族……………E・ヒューズ(五)  
憎悪の涯……………I・フラックウッド(二六)  
脅迫手……………J・H・チヨツケ(三六)  
ペリカン騒動……………I・A・ウイリアムズ(三六)  
ビミエラ莊事件……………フレツチャ―(四〇)  
彼が殺したか?……………ルネ・ビュジョル(四四)  
紳士かたぎ……………デニス・マツケイル(六〇)

常夏の國……………デニス・ウイトレー(四〇)  
雪の誕生……………カール・クローゼン(四六)  
樂天の從軍……………ステイシー・オーモニア(五六)  
鏡面の幻……………アガサ・クリスチ―(五六)  
獨逸の影……………サツバ―(五〇)  
休戦記念……………M・E・サングスター(五六)  
サトビース……………ダグラス・ファーバー(二二)

メトロの出口……………ジヨルジイ(四四)  
風邪のそふ……………R・S・フリーバー(二六)  
齒珠の首……………J・C・ピーターズ(二八)  
眞珠の飾……………ビル・ビーム(三三)  
少年の詩……………H・デュヴェルノア(三五)  
食通人……………D・ティズレツチ(三七)  
日本趣味養成法……………マーク・ヘリンチャー(三五)  
職通人……………E・J・エドガー(三五)



飛訊家よもやま座談会 (三九)

